

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	宮原 高志 (MIYAHARA Takashi)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	5 4 2 4	
分担教員名					
クラス	工 9	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	小西 達裕 (KONISHI Tatsuhiko)		所属等	大学院情報学領域	
			研究室	J-1309	
分担教員名					
クラス	情	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	火1・2
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、Powerpoint				
授業の目標	<p>今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PCで作成したスライドを使ってのプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいえ、実際に体験してみなければ身につかないものです。そこで本科目では、ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットの活用方法を実践的に学習することを目的とします。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲をもって取り組んでください。</p>				
学習内容	<p>個人所有のノートPCを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。教材(音声つきスライド)をダウンロードして視聴し、そこで指示された課題に取り組む形式が基本です。教室での集合授業は行いませんので、学務情報システムからの教員アナウンスにいつも注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和文ワープロ Word による文書作成 ・プレゼンテーションツール Powerpoint によるプレゼン資料作成と発表実践 ・表計算ソフト Excel によるデータ処理 <p>また、単に上記のソフトウェアの操作ができるようになるだけでなく、将来的に未知のアプリケーションソフトを使いこなす能力を養成するために、以下の能力を磨くことを第二の目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションソフトに何ができるかを見極める能力 ・自分でマニュアルなどを調べて学習する能力 ・他人にアプリケーションソフトの使い方を教える能力 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Word 編(学びの PDCA サイクル) <ul style="list-style-type: none"> ・概要説明と学習目標の設定 ・学習計画の立案と実行、成果のチェック、計画の修正 ・課題文書の作成 3. Powerpoint 編 (ピアレビュー) <ul style="list-style-type: none"> ・概要説明と学習目標の設定 ・課題スライドの作成 ・チーム内での発表と相互評価 4. Excel 編 (Learning by Teaching) <ul style="list-style-type: none"> ・概要説明と学習目標の設定 ・課題データファイルの作成 ・教材の作成と学生によるミニ講義の実施 5. 総まとめ 				
受講要件	情報学部1年前期の専門科目で Windows の基本的な使用方法を既に学んでいる学生を対象とします。他学部生は基本的には前期の講義を受講してください。				
テキスト	特に指定しません。各人の実力に応じて、下記参考書などの購入をお勧めします。				
参考書	Let's Enjoy Computing-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社				
予習・復習について	授業時間内には教科書の解説は最低限しか行わず、時間のほとんどを実習にあてます。よって指示された予習を必ず行ってください。また復習として出された課題を行うこと。				
成績評価の方法・基準	学習対象のアプリケーションを学習・研究・将来の業務に使いこなせる基礎力を持ち、かつアプリケーション操作を学ぶ方法についても習熟していることを合格の基準とします。毎回の学習状況の報告(オンライン)と課題レポートにより評価します。				
オフィスアワー	メール等で随時質問や zoom 面談を申し込んで下さい。				
担当教員からのメッセージ	・以下のことがらについては前期の学習内容を十分復習しておいてください。Windows の基本操作、タッチタイピング、ファイル・フォルダの操作、電子メールの基礎概念、Web ブラウザの操作				

アクティ ブ・ラーニ ング	グループワーク [必要に応じてグループで学習]、プレゼンテーション [ピアレビューを含む]、模擬授業 [Learning by Teaching]
実務経験の ある教員の 有無	
実務経験の ある教員の 経歴と授業 内容	
教職科目区 分	

授業科目名	数理・データサイエンス入門 (Introduction to Mathematical and Data Science)				
担当教員名	遠藤 正之 (ENDO Masayuki)		所属等	学術院情報学領域	
			研究室	J2309 室	
分担教員名	小西 達裕、須藤 智、滑田 明暢、武田 将季、Asst01、Asst05、Asst06				
クラス	情	学期	前期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	1	曜日・時限	集中
キーワード	数理・データサイエンス、統計学、情報技術				
授業の目標	<p>現代社会では多様で膨大なデータの利活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。本授業では、数理・データサイエンスの基本的考え方、統計学の基礎、情報技術の基礎的知識を理解し、今後の学習で数理・データサイエンスを活用した学習ができるようになることを目標とします。また、具体的な社会課題における数理・データサイエンスの具体的な事例を学び、数理・データサイエンスの必要性について理解し、将来社会で数理・データサイエンスを活用の必要性を説明できるようになることを目指します。</p>				
学習内容	<p>本授業では、数理・データサイエンス入門は、インターネット上の学習システムを使ってすべてオンラインで学習します。具体的な学習内容は、数理・データサイエンスの活用事例、統計学基礎、情報技術基礎、情報倫理基礎です。</p>				
授業計画	<p>授業は 1 節から 8 節まで複数のオンライン動画で構成されています。 授業のスケジュールは配布されたパンフレットと Web 資料に掲載されています。 5 月中旬から学務情報システムで受講方法をアナウンスしますので、確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理データサイエンスの基礎—事例紹介 2. 情報技術基礎① —データとは？プログラミングとは？ 3. 情報技術基礎② —データ処理のためのプログラミング 4. 統計学基礎① —基礎統計、データの可視化 5. 統計学基礎② —相関、回帰直線、主成分分析 6. 統計学基礎③ —確率、分布、検定 7. 数理データサイエンスの応用—事例紹介 8. 統計学基礎、情報倫理—データの収集、保存、取り扱い 				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし				
参考書	各授業動画内で紹介する。				
予習・復習について	<p>(予習) 数理・データサイエンスに関わる書籍等を読むこと (復習) 動画視聴後に実施される小テストを復習課題として実施します。</p>				
成績評価の方法・基準	<p>本授業は可否で成績評価を行います。 各単元に対応する小テストの結果をもとに可否を反映するので、学務情報システム、パンフレットに詳細が書かれているので確認すること。</p>				
オフィスアワー	<p>オンライン掲示板とラーニングコモンズ (静岡キャンパス・浜松キャンパス) で質問を受け付けます。詳細については学務情報システム、パンフレットを確認すること。</p>				
担当教員からのメッセージ	<p>1 節から 8 節まで、複数のオンライン動画で授業が構成されています。学務情報システムとパンフレットをよく読んで各自受講すること。オンラインでの受講のため各自の学習スケジュールをしっかりと設定して実施してください。</p>				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の					

経歴と授業 内容	
教職科目区 分	

授業科目名	数理・データサイエンス入門 (Introduction to Mathematical and Data Science)				
担当教員名	和田 忠浩 (WADA Tadahiro)		所属等	学術院工学領域	
			研究室	E 424	
分担教員名	小西 達裕、須藤 智、滑田 明暢、武田 将季、Asst01、Asst05、Asst06				
クラス	工	学期	前期		必修選択区分
対象学年	1年	単位数	曜日・時限		
キーワード	数理・データサイエンス、統計学、情報技術				
授業の目標	現代社会では多様で膨大なデータの利活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。本授業では、数理・データサイエンスの基本的考え方、統計学の基礎、情報技術の基礎的知識を理解し、今後の学習で数理・データサイエンスを活用した学習ができるようになることを目標とします。また、具体的な社会課題における数理・データサイエンスの具体的な事例を学び、数理・データサイエンスの必要性について理解し、将来社会で数理・データサイエンスを活用の必要性を説明できるようになることを目指します。				
学習内容	本授業では、数理・データサイエンス入門は、インターネット上の学習システムを使ってすべてオンラインで学習します。具体的な学習内容は、数理・データサイエンスの活用事例、統計学基礎、情報技術基礎、情報倫理基礎です。				
授業計画	授業は1節から8節まで複数のオンライン動画で構成されています。 授業のスケジュールは配布されたパンフレットと Web 資料に掲載されています。 5月中旬から学務情報システムで受講方法をアナウンスしますので、確認してください。 1. 数理データサイエンスの基礎—事例紹介 2. 情報技術基礎① —データとは？プログラミングとは？ 3. 情報技術基礎② —データ処理のためのプログラミング 4. 統計学基礎① —基礎統計、データの可視化 5. 統計学基礎② —相関、回帰直線、主成分分析 6. 統計学基礎③ —確率、分布、検定 7. 数理データサイエンスの応用—事例紹介 8. 統計学基礎、情報倫理—データの収集、保存、取り扱い				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし				
参考書	各授業動画内で紹介する。				
予習・復習について	(予習) 数理・データサイエンスに関わる書籍等を読むこと (復習) 動画視聴後に実施される小テストを復習課題として実施します。				
成績評価の方法・基準	本授業は可否で成績評価を行います。 各単元に対応する小テストの結果をもとに可否を反映するので、学務情報システム、パンフレットに詳細が書かれているので確認すること。				
オフィスアワー	オンライン掲示板とラーニングコモンズ (静岡キャンパス・浜松キャンパス) で質問を受け付けます。詳細については学務情報システム、パンフレットを確認すること。				
担当教員からのメッセージ	1節から8節まで、複数のオンライン動画で授業が構成されています。学務情報システムとパンフレットをよく読んで各自受講すること。オンラインでの受講のため各自の学習スケジュールをしっかりと設定して実施してください。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の					

経歴と授業 内容	
教職科目区 分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	山極 芳樹 (YAMAGIWA Yoshiki)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	R501	
分担教員名	能見 公博				
クラス	工1	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	月3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	真田 俊之 (SANADA Toshiyuki)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	環境・流体 真田研究室 総合研究棟 R403	
分担教員名	武田 正典				
クラス	工2	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	金3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	橋本 岳 (HASHIMOTO Takeshi)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	E320	
分担教員名					
クラス	工3	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	木3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	立蔵 洋介 (TATEKURA Yosuke)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	工学部 2 号館 414 室	
分担教員名					
クラス	工 4	学期	前期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	木 3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	井上 翼 (INOUE Yoku)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	総合研究棟 909 室	
分担教員名					
クラス	工 5	学期	前期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	木 1・2
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	小南 裕子 (KOMINAMI Hiroko)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	電子工学研究所(新棟) 403 室	
分担教員名					
クラス	工6	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	木 1・2
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など <p>学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。</p>				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	戸田 三津夫 (TODA Mitsuo)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	工学部 4 号館 406	
分担教員名	前澤 昭礼				
クラス	工 7	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)				
担当教員名	戸田 三津夫 (TODA Mitsuo)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	工学部 4 号館 406	
分担教員名	武田 和宏				
クラス	工 8	学期	前期		必修選択区分 必
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	情報処理、コンピュータ、Excel、Word、メール、インターネット				
授業の目標	私達の身の回りには、あらゆるところに情報技術 (IT) が使われています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますし、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。このような情報技術の基本を習得することは、現代の大学生にとって必須な教養となっています。この授業の目的は、一人一台のパソコンで、ワープロ、表計算、インターネット、メールを中心に実践的に学習し活用できるようになることです。				
学習内容	情報基盤センターにある Windows パソコンを使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウェアの使い方を実習します。「情報処理」のテキストを使い、電子メール、インターネット、ワープロ (ワード)、表計算ソフト (エクセル) を実習します。電子メールやインターネットを使えば膨大な世界中の情報にアクセスが可能で、ワープロや表計算ソフトを使えば高度な文書や複雑な計算・グラフも簡単にできます。初心者を対象に演習などを通して、基本的なソフトウェアの使い方を実践的に学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.基本操作と情報倫理, ログオンの方法など 2.メールのアカウントの設定と基本操作及びメール作法 3.メールの返信, 署名, 添付ファイル 4.インターネットによる情報検索などインターネットサービスの活用 5.和文ワープロ Word 6.和文ワープロ Word 7.和文ワープロ Word 8.和文ワープロ Word 9.表計算 Excel 10.表計算 Excel 11.表計算 Excel 12.表計算 Excel 13.パワーポイントによるプレゼンテーション 14.パワーポイントによるプレゼンテーション 15.プログラミング入門, ウェブページ作成など 学科, クラスによっては, 上記と異なることがあります。				
受講要件	なし				
テキスト	Let's Enjoy Computing[2020]-情報処理-, 静岡大学情報教育プロジェクト編, 学術図書出版社, 2020				
参考書					
予習・復習について	指示された予習・復習は必ず行ってください。				
成績評価の方法・基準	授業中に出した課題により評価します。				
オフィスアワー	担当各先生あてに, メール等で事前に連絡を取って下さい。				
担当教員からのメッセージ	第1回の授業でログオンに必要な ID とパスワードを配布の予定です。また, 質問にはメールが利用できます。				
アクティブ・ラーニング					
実務経験のある教員の有無					
実務経験のある教員の経歴と授業					

内容	
教職科目区分	